

# い〜ねくらぶだより



2020年9月11日

認定 NPO 法人じゃんけんぽん

企業主導型保育 い〜ねくらぶ

## 自分が決める を応援したい

子どもたちが紙パンツから布パンツへと移行していくタイミングで、大人はアレコレと悩むことがあるかと思えます。

い〜ねくらぶのSちゃんも、夏ぐらいから少しずつ布パンツへ。

布パンツになったのが嬉しくて最初はやる気満々でしたが、そのうちに「パンツ履く？」と聞くと「お部屋びしょびしょになっちゃうでしょ」と言って、部屋などを濡らすかもということに気にしてくれて布パンツを履きたがらない日々が続きました。布パンツを履いたとしても、保育園ではおしっこをしない！と決めているようで我慢し続けている様子のSちゃん。

お家ではオマルで出来ているとのことだったので「お家のオマルを持ってきたら出来そう？」と聞くと「うん！」と笑顔で答え、次の日は持ってきたオマルをみんなに紹介してとても嬉しそう。おしっこも1回することが出来ました。けれどまたその後からは、保育園ではしない！と決めた様子の日々が数日続きました。ですが、お迎えの時にママと一緒にトイレに行けばオマルで排泄出来る、と少しずつ本人の中で手応えのようなものが出てきて、日中の保育園でもオマルで出来ることが増えてきた頃・・・。

いつものようにママがお迎えにきたので一緒にトイレへ。ママが「こっちのトイレに座ってみれば～」とさりげなく誘い、Sちゃんもすんなりとオマルではなくトイレへ。そしておしっこが出ました。

ママも本人も保育者もみんな嬉しくなって「お！おー！」と喜び合う瞬間でした。

そこからは、トイレでする！と決めた様子のSちゃん。園でもお家でもオマルから卒業。それも決めたらあっという間でびっくりさせられましたが、「卒業」という言葉がとてもよく似合う、自信を持った巣立ちでした。

これでいいのだと感じました。親だけがやる。保育園だけがやる。じゃなくて周りにいる人が一緒にその子の持っている力を見守って、自然に応援していこうね、って。

布パンツへの移行期間は、それを再確認させてもらうための時間でもあるのかもしれません。

・・・余談ですが、Sちゃんは写真館でのドレス選びでも「これがいい！」と即決だったとのこと。

すぐに自分が喜ぶものを選べるって素敵！！自分のことが大好きで、自分を大切にすると決めて生きているような彼女。こんな生き方がこれからの社会で必要な力になっていくのではないのでしょうか。

どんなペースで、どんなタイミングで、どんなやり方でやっていくのか。

子ども一人一人に寄り添いながら、自分で決めていくプロセスも大切にしながら、これからも多様なかわりが出て来たらいいなあと思っています。



浜川公園行って  
きたよ！

ブルーベリー  
いっぱいもらったよ！



ドレスを着るの  
大好き～！